

週間情報

No. **0832**

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 消防現勢を紹介

[全国消防長会](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽行 事

- ◆ 「七尾鹿島子ども消防クラブ活動服寄贈式」を実施

[七尾鹿島消防本部（石川）](#)

▽訓 練

- ◆ 「トンネル車両火災対応訓練（夜間）」を実施

[橋本市消防本部（和歌山）](#)

- ◆ 解体予定の建物を活用した隣接3消防署による合同訓練を実施

[太田市消防本部（群馬）](#)

- ◆ 「消防強制進入講習会」を実施

[佐久広域連合消防本部（長野）](#)

- ◆ 解体予定の建物を活用した訓練を実施

[羽島市消防本部（岐阜）](#)

▽研 修

- ◆ ハラスメント研修会を実施

[益田広域消防本部（島根）](#)

- ◆ 「女性消防吏員活躍推進研修」を実施

[湖北地域消防本部（滋賀）](#)

- ◆ 「電気設備関係の教養」を実施

[鯖江・丹生消防組合消防本部（福井）](#)

- ◆ 少量危険物事務処理研修会を実施

[小山市消防本部（栃木）](#)

▽その他

- ◆ 消防功労者に消防総監感謝状を贈呈

[東京消防庁（東京）](#)

- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

[掛川市消防本部（静岡）](#)

- ◆ 消防協力団体と消防協力者に感謝状を贈呈

[西尾市消防本部（愛知）](#)

- ◆ 消防協力者に表彰状を贈呈

[田川地区消防本部（福岡）](#)

- ◆ 「消防職場体験」を実施

[草加八潮消防局（埼玉）](#)

[目次に戻る](#)

- ◆ バッテリーカーを受贈

岸和田市消防本部（大阪）

- ◆ 「おうち消防隊長養成アカデミー」を開催

松本広域消防局（長野）

- ◆ 地域と連携した「手持ち花火教室」を開催

仙台市消防局（宮城）

- ◆ キャリア教育実習（インターンシップ）を実施

川口市消防局（埼玉）

- ◆ 「親子で学ぶ救命講習（救急救命トライアル）」を開催

大分市消防局（大分）

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ 「林野火災用消火薬剤の評価ガイドラインについて（通知）」の一部改正等について

（消防災第133号、消防広第421号、消防予第356号、消防特第142号、令和8年8月3日）

- ◆ 「化学災害又は生物災害時における消防機関が行う活動マニュアル」の一部改正について（通知）

（消防参第172号、令和8年8月7日）

- ◆ 令和8年熊本地震に対応した消防関係手数料の減免措置について（通知）

（消防予第369号、消防危第196号、令和8年8月10日）

- ◆ 「令和八年熊本地震による災害についての特定非常災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」の公布・施行に伴う消防法令の運用について（通知）

（消防予第368号、消防危第195号、令和8年8月10日）

▽報道発表

- ◆ 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募

（令和8年8月4日、消防庁）

▽情報提供

- ◆ 令和8年度予防技術検定の実施について

一般財団法人消防試験研究センター

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)



消防現勢

必要なデータをすぐに！

本資料は、全国の消防本部から寄せられた膨大なデータを集約したものです。
今年度からPDF版の送付に一本化したことで、各本部内での共有や閲覧が従来より円滑に行えるようになり、活用の幅は一段と広がりました。
データに基づいた消防行政の推進に、ぜひお役立てください！

このデータでわかること！



構成市町村数・
面積・人口



予算・経費



消防施設・職員



消防車両等



現有消防水利数

全国消防長会HPで一部を公開



まずはHPをチェック！

気になるデータを実際にご覧ください！

全国消防長会 消防現勢 🔍



消防現勢（PDF版）は、
各本部の全国消防長会
担当者へ送付しています。

※HPでは公開していない
詳細データを含め、
100ページを超える内
容を収録しています！



次回
予告

次回は「消防現勢の活用術」をご紹介します。



消防本部の動き

▽行 事

◆ 「七尾鹿島子ども消防クラブ活動服寄贈式」を実施

七尾鹿島消防本部（石川）

七尾鹿島消防本部では、令和8年7月31日（金）、消防本部庁舎において、「七尾鹿島子ども消防クラブ活動服寄贈式」を実施しました。

地域の未来を担う子どもたちが、防火・防災の大切さを学び、仲間とともに活動する機会を応援したいとの思いから、七尾鹿島防火協会から活動服を寄贈していただきました。

この寄贈が子ども消防クラブ員の活動の励みとなり、地域への愛着と防災意識を育む一助となることを期待しています。

新しい活動服を身に付けた子どもたちは、笑顔と自信に満ちあふれ、地域を守る一員としての誇りを感じている様子が印象的でした。

今回の寄贈を励みに、今後も同協会と連携を深め、子どもたちへの体験学習を通じて地域全体の防火・防災活動の推進に努めてまいります。



【寄贈式の様子】



【寄贈式後の記念撮影】

▽訓 練

◆ 「トンネル車両火災対応訓練（夜間）」を実施

橋本市消防本部（和歌山）

橋本市消防本部では、令和8年7月24日（金）、「トンネル車両火災対応訓練（夜間）」を実施しました。

この訓練は、隊員個々の消火技術の向上を図るとともに、化学車の機関運用方法の習熟を目的として実施したものです。

当日は、新たに配備された化学車を活用し、より実践的な環境を設定して訓練を行いました。

隊員は、夜間の視界不良下において、無線を活用した各隊の連携体制や安全管理体制の確認を行いました。

車両構造の多様化などに伴い、火災現場での消防活動におけるリスクは日々変化しています。

今後もさまざまな事態を想定した訓練を継続し、地域の皆さまの安全と安心を守るため、引き続き研さんを重ねてまいります。



【訓練の様子】



【新たに配備された化学車】

[目次に戻る](#)

◆ 解体予定の建物を活用した隣接3消防署による合同訓練を実施

太田市消防本部（群馬）

太田市消防本部では、令和8年7月28日（火）、大泉消防署、館林地区消防組合消防本部、邑楽消防署および千代田消防署との3署合同で、解体予定の斎場を活用した訓練を実施しました。

この訓練は、実災害を想定した訓練を通じて、より実践的な活動能力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、空気呼吸器を装着した隊員が協力し、設定したホースをたどって野外へ脱出する緊急脱出訓練や、エンジンカッター、バールなどを使用し、施錠されたドアを安全かつ確実に開放する強制進入訓練を行い、屋内進入活動における安全管理体制、資機材の取り扱い方法、対応要領を確認しました。

今後も実践的な訓練を継続し、災害対応力の向上に努めてまいります。



【緊急脱出訓練の様子】



【強制進入訓練の様子】

◆ 「消防強制進入講習会」を実施

佐久広域連合消防本部（長野）

佐久広域連合消防本部では、令和8年7月28日（火）、「消防強制進入講習会」を実施しました。

この講習会は、一般社団法人Japan Forcible Entry 韋駄天の代表理事である一ノ宮健氏を講師としてお招きし、火災・救助現場などにおいて、人命救助や消火活動のため、施錠されたドアを迅速かつ確実に開放する知識や技術を習得することを目的として実施したものです。

当日は、消防強制進入の必要性や目的、法的解釈、ドアや錠前の構造などについて学んだ後、バールや斧などのハンドツールを使用したドア開放訓練を実施しました。

講習会で学んだドア開放の知識や技術を共有し、地域の安全・安心の確保につなげていきます。また、今後もさまざまな訓練を継続し、災害対応能力の向上を図ってまいります。



【講習会の様子】

◆ 解体予定の建物を活用した訓練を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和8年7月27日（月）、31日（金）の2日間、解体予定の旧老人福祉センターを活用した訓練を実施しました。

この訓練は、令和6年に市内の建設業協会との間で締結した「実戦的な消防訓練場所の提供に関する協定」に基づき、解体前の建物を提供していただいたことにより実現したものです。

期間中は、建物屋上に要救助者がいる状況を想定した救助訓練をはじめ、火災が発生した場合を想定した人命検索および消火訓練、建物倒壊による閉じ込めを想定したドアや壁などの破壊訓練を実施しました。

これらの訓練を通じて、さまざまな資機材を活用し、隊員の技術向上を図るとともに、隊員間の連携強化につながりました。

今後もこのような協定を活用し、解体前の建物を有効活用するとともに、関係機関との連携を継続し、消防力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

▽研 修

◆ ハラスメント研修会を実施

益田広域消防本部（島根）

益田広域消防本部では、令和8年7月27日（月）、28日（火）の2日間、ハラスメント研修会を実施しました。

この研修会は、消防職員のパワハラ対策に関する知識を深め、ハラスメントへの理解を促進することを目的として実施したものです。

期間中は、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏を講師としてお招きし、消防職員のパワハラ対策についてご講義いただきました。

サニーカミヤ氏は元消防職員であり、消防組織の特性や職員が置かれている環境を熟知されており、消防職員としての経験に基づいた具体的で説得力のある講義により、職員相互のコミュニケーションや相手の立場を尊重することの重要性を再認識するとともに、ハラスメントに対する認識を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。

今回の研修を通じて、誰もが安心して働くことのできる風通しの良い職場環境づくりに努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「女性消防吏員活躍推進研修」を実施

湖北地域消防本部（滋賀）

湖北地域消防本部では、令和8年7月30日（木）、「女性消防吏員活躍推進研修」を実施しました。

この研修は、総務省消防庁が実施する「女性消防吏員活躍推進アドバイザー制度」を活用し、女性消防吏員のさらなる活躍推進、幹部職員をはじめとする全職員の意識改革を目的として実施したものです。

当日は、仙台白百合女子大学教授の山崎洋史氏を講師としてお招きし、男性職員の意識改革や女性が働き続けやすい環境の構築、女性消防吏員の採用増加に向けた効果的な取り組みについてご講義いただき、職員は大きな「気づき」を得ることができました。



【研修の様子】

◆ 「電気設備関係の教養」を実施

鯖江・丹生消防組合消防本部（福井）

鯖江・丹生消防組合消防本部では、令和8年7月31日（金）、管内の防火対象物において、電気設備に関する知識の習得を目的として、「電気設備関係の教養」を実施しました。

当日は、電気主任技術者を講師としてお招きし、電線から建物へ電気が供給される仕組みをはじめ、変電設備や非常電源（自家発電設備）の構造・役割についてご講義いただきました。

また、目に見えない電気に起因する事故の防止など、現場活動における安全管理について知識を深めました。

今後も各種教養を継続して実施し、職員の知識・技術の向上を図るとともに、安全・確実な災害対応に努めてまいります。



【講義の様子】

◆ 少量危険物事務処理研修会を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和8年8月5日（水）、6日（木）の2日間、職員を対象とした少量危険物事務処理研修会を実施しました。

この研修会は、担当部署以外の職員に対し、危険物に関する知識の向上を図ることを目的として、消防本部予防課が企画したものです。

期間中は、座学と実務で構成された研修を実施し、実務では消防庁舎に設置されている危険物施設を目視で点検確認するなどの内容で行われました。

また、担当職員が実体験を基に得た知識と経験談を織り交ぜた講義を行い、参加した職員は、当初は緊張した様子でしたが、終盤には活発な意見が出るなど、和やかな雰囲気での研修を終えることができました。



【研修会の様子】

▽その他

◆ 消防功労者に消防総監感謝状を贈呈

東京消防庁（東京）

東京消防庁光が丘消防署では、令和8年7月15日（水）、消防功労者6人に対して、消防総監感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年5月27日（水）、テニスコートにおいて、プレー中に倒れ、心肺停止となった男性に対し、テニススクールのコーチが施設のAEDを持参して、胸骨圧迫を開始するとともに、同スクールの生徒1人と交替しながら、胸骨圧迫を継続したものです。

また、同スクールの従業員が迅速に119番通報を行うとともに、他の生徒3人も活動を支援し、除細動を4回実施した結果、傷病者は救急隊へ引き継がれた後に呼吸と脈拍が回復しました。

消防功労者6人の連携した勇気ある行動により、適切かつ迅速な119番通報、胸骨圧迫、除細動による「救命の連鎖」が実践され、傷病者の救命に大きく貢献したことにに対し、心から敬意と感謝の意を表しました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

掛川市消防本部（静岡）

掛川市消防本部では、令和8年7月27日（月）、消防協力者3人に対し、消防長から感謝状（2事案）を贈呈しました。

今回の2事案では、現場に居合わせた消防協力者が傷病者の異変に気付き、心肺蘇生を開始したものです。

うち1事案では、AEDを使用して除細動を実施するなど、救急隊が到着するまで適切な救命活動を行い、尊い命を救いました。

傷病者はいずれも後遺症なく社会復帰することができました。

今回の事案では、3人による迅速かつ的確な救命活動が行われ、勇気ある行動が救命の連鎖に大きく貢献しました。

また、当消防本部では、市民団体であるNPO法人「f.a.n.地域医療を育む会」と協働し救命講習会を実施しており、この取り組みを通じてさらなる救命の連鎖につなげてまいります。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力団体と消防協力者に感謝状を贈呈

西尾市消防本部（愛知）

西尾市消防本部では、令和8年7月28日（火）、消防協力団体である株式会社イナテックおよび消防協力者である同社の従業員3人に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同社内において、従業員3人が心肺停止となった傷病者を発見し、119番通報、胸骨圧迫およびAEDの使用を役割分担のもと実施したものです。

従業員3人の勇気ある行動と、同社が長年継続している救命講習やAEDの設置など、平時からの備えが尊い命を救う結果につながりました。

今後もより多くの市民に「救命の連鎖」の重要性を発信してまいります。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に表彰状を贈呈

田川地区消防本部（福岡）

田川地区消防本部では、令和8年8月5日（水）、消防協力者2人に対し、消防長および田川地区防災協会会長から表彰状を贈呈しました。

本事案は、令和8年6月29日（月）、管内の川で溺れていた親子2人に対し、現場に居合わせた消防協力者2人が協力し、119番通報および救助活動を行い、男児を救出したものです。

さらに、自力で川からはい上がった母親に付き添い、到着した救急隊に引き継ぎました。

消防協力者2人の冷静な判断と迅速かつ的確な救助活動により、尊い人命が救われたことに對し、心から敬意と感謝の意を表します。



【表彰状贈呈の様子】



【表彰状贈呈後の記念撮影】

◆ 「消防職場体験」を実施

草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、令和8年7月23日（木）、24日（金）の2日間、八潮消防署において、消防職員を目指す学生を対象に「消防職場体験」を実施しました。

この職場体験は、就職先として当消防局への関心を高めるとともに、将来の受験者層を広げ、積極的な情報発信を展開することで質の高い人材を確保することを目的として実施したものです。

期間中は、防火衣を着装しての放水体験、梯子車乗車体験、引揚救助訓練の体験、屋内進入訓練の見学のほか、情報指令課や予防課、八潮消防署管理課の業務説明などを行いました。

参加した学生16人は、職員と対話をしながら各体験に真剣に取り組みました。

アンケートでは、「訓練に対する意識の高さを感じました」、「和やかな職員が多く、良い職場環境だと感じました」、「消防職員になるという目標がより明確になった1日でした」などの回答が寄せられました。

また、参加した学生全員から、「消防職員を目指す人は体験したほうがいいと思う」などの前向きな意見が寄せられました。



【消防職場体験の様子】



【体験後の記念撮影】

◆ バッテリーカーを受贈

岸和田市消防本部（大阪）

岸和田市消防本部では、令和8年7月24日（金）、一般社団法人永代太々巴講より、地域貢献の一環として、消防行政の広報活動に使用するバッテリーカーを受贈しました。

受贈したバッテリーカーは、子ども向けイベントなどで有効に活用し、子どもたちが乗車する機会を通じて、消防や防災への興味・関心を育むとともに、地域の皆さまとの交流を深めてまいります。



【受贈後の記念撮影】

◆ 「おうち消防隊長養成アカデミー」を開催

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和8年7月26日（日）、消防局庁舎において、小学生の親子を対象とした「おうち消防隊長養成アカデミー」を開催しました。

これは、自宅で過ごす時間や外出が増える夏休み期間に、火災から身を守るための対策や対応について学ぶことを目的として実施したものです。

参加者（親子20組、延べ62人）は、住宅用火災警報器の鳴動実験や電気器具火災の再現実験を通して、火災予防の知識を学びました。

また、夏休みの外出や宿泊先で確認すべき防火上の注意点を学んだ後、当消防局庁舎を宿泊施設と見立て、防火戸やスモークマシンを使用した避難体験も行いました。

子どもたちは、廃棄ホースを使用した工作や車両・通信指令室の見学のほか、体験コーナーでは研修用の自動火災報知設備を使用して、火災時以外は押してはいけない「発信機」の操作体験など、日常では経験できない体験を楽しみました。

保護者も安全な宿泊施設の選び方を学ぶなど、親子で火災予防への関心を高める良い機会となりました。



【アカデミーの様子】



【電気器具火災の再現実験の様子】

◆ 地域と連携した「手持ち花火教室」を開催

仙台市消防局（宮城）

仙台市消防局では、令和8年7月28日（火）、市民センターおよび仙台市女性防火クラブ連絡協議会のクラブ員と連携し、地域の親子を対象とした「手持ち花火教室」を開催しました。

この教室は、子どもたちが日頃火を扱う機会が少なくなっていることや、夏の風物詩である花火を楽しめる場所が減少していることを踏まえ、火災予防や火傷などの事故防止のため、正しい花火の遊び方を学んでもらうことを目的として開催したもので、今回で3回目となります。

当日は、座学で花火の取り扱いを学んだ後、実際に手持ち花火を使用し、花火に潜む危険性や安全な取り扱い方法について理解を深めました。

多くの親子が参加し、大変有意義な教室となりました。

今後も地域団体などと連携しながら、地域に密着した火災予防啓発活動に積極的に取り組んでまいります。



【花火教室の様子】

◆ キャリア教育実習（インターンシップ）を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和8年7月31日（金）、消防局および南消防署において、当消防局初となるキャリア教育実習（インターンシップ）を実施し、学生4人を受け入れました。

この実習は、消防業務に関心があり、将来消防職員を目指す学生を対象に、消防業務への理解を深めることを目的として実施したものです。

当日は、普段あまり接する機会のない日勤業務を中心に業務説明を行い、消防業務の多様な役割と責任について理解を深めました。

また、実習後半は消防署へ移動し、執務スペースだけでなく、仮眠室や食堂などの休憩スペースを見学するとともに、現場職員との質疑応答を行いました。

実際の職場の雰囲気や職員の思いに触れることで、将来の選択肢として消防の魅力を伝える貴重な機会となりました。

今後も魅力ある組織づくりと情報発信に取り組み、未来の消防を担う人材の育成に努めてまいります。



【実習の様子】

◆ 「親子で学ぶ救命講習（救急救命トライアル）」を開催

大分市消防局（大分）

大分市消防局では、令和8年8月2日（日）、大分市役所荷揚BASEにおいて、「親子で学ぶ救命講習（救急救命トライアル）」を開催しました。

この講習は、女性消防団員にご協力いただき、親子の救命意識の向上を図ることを目的として実施したものです。

参加者は、胸骨圧迫やAEDの使用方法など応急手当の基本を学び、119番通報訓練を交えた実技に挑戦しました。

その後、救急隊員による現場シミュレーション訓練の実演を見学し、救命処置への理解を深めました。

また、マイナ救急や救急車の適正利用、#7119・#8000の周知も行い、救急医療全体への理解を促しました。

今後もこうした取り組みを通じて、安全・安心なまちづくりにつなげてまいります。



【講習の様子】



【講習終了後の記念撮影】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 「林野火災用消火薬剤の評価ガイドラインについて（通知）」の一部改正等について （消防災第133号、消防広第421号、消防予第356号、消防特第142号、 令和8年8月3日）

消防庁防災課長、消防庁広域応援室長、消防庁予防課長、消防庁特殊災害室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記については、令和8年6月30日付け消防災第171号・消防広第381号・消防予第303号・消防特第119号により通知したところです。

今般、評価ガイドラインの各試験項目に係る試験手順書を作成するとともに、これに伴う同ガイドラインの見直し（表現の適正化等）を行いました。

つきましては、評価ガイドラインを別添のとおり改正しましたので、その適切な運用に配慮されますようお願いします。（別添省略）

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/21e56c5c489832d4ccdf49afcc5eb5b6a708bf09.pdf>）に掲載されています。

◆ 「化学災害又は生物災害時における消防機関が行う活動マニュアル」の一部改正について（通知）

（消防参第172号、令和8年8月7日）

消防庁国民保護・防災部参事官から都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

現在の消防機関におけるBC災害対応につきましては、令和5年度に改正した「化学災害又は生物災害時における消防機関が行う活動マニュアル」（以下「BC災害活動マニュアル」という。）に基づき実施しているところです。

今般、BC災害活動マニュアルの本編の一部改正を行いましたので周知いたします。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/9283291f11ed460b9227eaec93a96fea8510dc83.pdf>）に掲載されています。

＜問合せ＞

消防庁国民保護・防災部参事官付

担当：大月参事官補佐、田中係長、井上事務官、為田事務官

電話：03-5253-7507（直通）

Mail：fdma.kyuujo@soumu.go.jp

消防庁救急企画室

担当：辻補佐、松田係長、黒岩事務官

電話：03-5253-7529（直通）

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

◆ 令和8年熊本地震に対応した消防関係手数料の減免措置について（通知）

（消防予第369号、消防危第196号、令和8年8月10日）

消防庁予防課長、消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和8年熊本地震による災害が、激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年法律第150号）に基づく激甚災害に指定されたことを踏まえ、特に被災地域については、消防法令に基づき行われている各種制度に係る手数料について、下記のとおり取り扱うことが適当であると考えられることから通知します。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260810_yobou_2.pdf）に掲載されています。

（問い合わせ先）

消防庁予防課

担当：菅村、菅

TEL：03-5253-7523

Mail：yobo@soumu.go.jp

消防庁危険物保安室

担当：今井、池田

TEL：03-5253-7524

Mail：fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

[目次に戻る](#)

◆ 「令和八年熊本地震による災害についての特定非常災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」の公布・施行に伴う消防法令の運用について（通知）

（消防予第368号、消防危第195号、令和8年8月10日）

消防庁予防課長、消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和8年熊本地震による被害（以下「地震被害」という。）が極めて甚大であることから、同年8月7日に、令和八年熊本地震による災害についての特定非常災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令（令和8年政令第260号）が公布・施行されました。

これを踏まえ、消防法令に存続期間の定めのある権利利益及び履行期限の定めのある義務については、下記のとおり取り扱うことが適当であることから通知します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260810_yobou_1.pdf）に掲載されています。

（問い合わせ先）

消防庁予防課

担当：菅村、菅

TEL：03-5253-7523

Mail：yobo@soumu.go.jp

消防庁危険物保安室

担当：今井、池田

TEL：03-5253-7524

Mail：fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

▽報道発表

◆ 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募

（令和8年8月4日、消防庁）

消防庁は、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等について、令和8年8月5日（水）から令和8年9月8日（火）までの間、意見を公募します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260804_sanjikan_1.pdf）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁国民保護・防災部 参事官付 大月補佐、田中

TEL 03-5253-7507（直通）

E-mail:fdma.kyuujo_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

▽情報提供

◆ 令和８年度予防技術検定の実施について

一般財団法人消防試験研究センター

令和８年度の予防技術検定を、次のとおり実施します。
本検定の受検申請方法は、電子申請のみです。また、受検案内についてもホームページへの掲載のみとなりますので、詳細は当センターのホームページをご確認ください。

- 1 検定実施年月日
令和８年１２月６日（日）午後２時００分から午後４時３０分
- 2 受検申請期間
令和８年７月８日（水）から８月３１日（月）まで
- 3 検定区分
防火査察・消防用設備等・危険物
- 4 受検申請方法
当センターホームページから電子申請（<https://www.shoubo-shiken.or.jp>）
- 5 受検案内
当センターホームページに掲載
- 6 合格発表日
令和９年１月８日（金）（予定）
- 7 その他

団体申請には、消防本部ごとの「団体コード」が必要です。申請の際、代表者の方は次の連絡先までお問合せください。



【予防技術検定ホームページの二次元コード】

【問い合わせ先】

一般財団法人 消防試験研究センター
予防技術検定担当

TEL ０３－３５９７－０２２０（代表）
（９：００～１７：００（土日祝を除く））

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間にも共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度／写真:JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事: kikakeikaku@fcj.jp 消防ワイド: honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設！

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

